

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 開会宣言
- ・ 議題の確認

1 調査事件

(1) (仮称)日吉多目的グラウンド整備基本計画(素案)について

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件について、10月22日付けで配付された資料の説明を受けるため理事者に出席を求めたいが、いかがか。(異議なし)
- ・ それでは理事者の出席を求める。

(教育委員会 入室)

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 説明を願う。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 資料説明：(仮称)日吉多目的グラウンド整備基本計画(素案)

(平成24年10月22日 教育委員会調整)

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 本件について発言あるか。

○板倉 一幸委員

- ・ 一つは多目的グラウンドをつくるということだが、公式な試合だと観客だとかそういった方々もいるんだろう。どの程度収容でき、どういった形で収容するのか聞きたい。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 観客、御覧いただく方々のお話である。
- ・ 本当に大きな試合というか、それこそコンサドーレの試合のようなものとこれまでも陸上競技場を使ってやってる。あるいは根崎だと3,000人の観客が入ることだから、そういった大きな大会は今まで同様の形でやっていくことになると思う。

ただ、もちろんここで公式戦の試合をやった場合に、関係者の方々が御覧になる、市民の方々が御覧になるということはあると思うが、ここは住居系の地域だから都市計画上は観覧席というものは正式には設けられない地域である。で、24ページの図面だが、日吉中央通側と放射4号線側に右上の角に緑の色が塗ってあると思うが、ここがのり面になっている。ここを切るものだから、校舎が建つとを下げるから緩やかな傾斜の芝になると。千代台の陸上競技場の向かい側が手前がスタンドで向かい側が芝生で緩やかな斜面で見れる。そういうような形のものがここでできる。で、300人くらいはここに入れると考えている。で、あともう一方のこの横になったグラウンドについては周囲の芝、多目的スペースがあるのでこちらで観覧していただくことになると考えている。

○板倉 一幸委員

- ・ 正式な観覧席は法上なかなか難しい、できないということだが、せっかくこういった競技が行われる施設を整備をしようということだから、私は観覧席という名称をつけなくてもそういった観覧のできる、あるいは応援のできるスペースがやっぱり必要ではないんだろうかと思う。今の話だとこの右側のコーナーにのり面があって、そこだけということになるわけだ。先ほど21ページでA案からD案までいろいろあったが、例えばB案だとそれぞれの図面でいうと上下というか左右というかそういったところで応援できる、観覧できる場所がつけられるのではないかと思うが、そういったものはあまり必要でないという判断なんだろうか。現実的にできないからという判断なんだろうか。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 用途上できないということがまずあるわけだが、その中でどれだけ皆さんに見えていただけるかということでのり面を活用していただく、あるいはこのランニングコースの周囲でベンチ等の置けるものは置いて、そのぐらいのことであれば休息しながら見ていただくということは可能になると思うので、結構この多目的スペースの部分で見ていただける部分が出てくると思っている。

○板倉 一幸委員

- ・ そういう判断なんだろうね。私は新設でそういった施設を整備をするんだから、座席をつくって観覧席をつくるかとはできないにしても、2面のグラウンド、フットサルのコートを含めて観覧、応援ができるような施設にすべきだと思うので、そのことは意見として申し上げておきたい。
- ・ 今アリーナも建設をする、それから多目的グラウンドを整備すると。私はそのことについては反対しないし進めてほしいと。ただ、新しい施設をつくるというところでは華々しいことだが、それに反して市全体でどうなのかということを考えていくと、例えば高齢者の交通助成が削減をされたり、今度は障がい者の方のタクシーの助成が見直しをされるということが同時に行われていることを考えていくと、この事業費もどの程度まで削減できるのかわからないけれども、できるだけ費用対効果の高いものにしていくことが必要だと思う。
- ・ これは、合併特例債を使ってやるが、市の負担は約5億円必要だということになるわけだから、その辺のところの見通しというか、概算事業費でしかないけれども、できるだけ少なくしていく努力をしていく考えはあるのか。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ それはもちろんできる限り事業費が圧縮できるような努力はしたいと思っているが、一方で先ほど話したように防球ネットの問題だとか雨水処理の問題だとか、まだ設計してみなければ詳細が見えない部分、地質がどうなっているかというようなことも含めて、調査しなければわからない部分があるので、若干不安な要素があってここには事業費がふえる可能性があるということで書いてはいるが、それは当然できるだけ予算、お金がかからないような施設整備に努力したい。

○板倉 一幸委員

- ・ 私もう少し研究し、改めて詳しく計画が出された時点でまた意見を言わせてもらいたい。

○金澤 浩幸委員

- ・ まず、「仮称」日吉多目的グラウンドになっているが、今後の扱いはどうなるのか。例えば公募する

だとか、思い切ってネーミングライツを募集してみるとか、どうか。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ これは先々の話にはなるんだけど、ここ今、北高跡地にグラウンド2面とフットサル3面ということで整備をします。で、東側150メートルのところには日吉のサッカー場とテニスコートがあると。で、それぞれ条例が別である。日吉のサッカー場とテニスコートも条例別である。で、今のところ、たった150メートルしか離れてないし、施設利用上も一緒に使うということが想定されるので、一つの施設としての名称をつけて条例も一本化していくというのが望ましいんだろうなと思ってるので、ここだけの名称ではなくて合わせた形での名称。しかも全国的にこのグラウンドを利用してほしいということだから、日吉多目的グラウンドと言ってもなかなか全国的にはわかりにくいのかなということも思っていて、もっとわかりやすいネーミング、例えばそのAコート、Bコート、Cコート、Dコートというような位置づけにしたほうがいいんだろうなということで、まだ「仮称」とさせてもらっている。
- ・ ネーミングライツの話については、アリーナのときにも話をして、検討しなければならないと思ってるけれども、あんまり安い金額で安売りはしたくないと思っていて、何か札幌の例を聞くと、札幌のきたえーるが今ネーミングライツ入ってるが、1年10カ月で750万円、札幌で。本当はもっと高い金額で応募があればということだったが、段々段々応募がなくて下げていって下げていって札幌で750万円ということなもんだから、函館でどのくらいの金額で応募してもらえるのかわからないが、やっぱり100万円単位じゃ、100万円、200万円じゃちょっとというふうには思っはいるが、検討はさせてもらう。

○金澤 浩幸委員

- ・ それ、いつ頃になるのか。条例改正も必要だということだが、完成時には一体のものとして、一つの名前でPRしていくものなのか、それとも完成して何年かたたないとそういう状況にならないのか。理想としては完成時には一つのものとして運用していけるのが一番だとは思っけれども。そこら辺の見込みだけでも。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 27年の夏の供用開始を予定しているので、そこから指定管理なりで管理をお願いするということ想定しているが、そうすると26年中には指定管理者を選定する必要がある。で、そうすると26年度当初予算に債務負担行為を組まなければ選定できないので、そのときには条例も必要になってくるということだから、25年度中には条例なり債務負担なりの提案をさせてもらうことになる。通常のスケジュールでいけばそうなると思っっている。

○金澤 浩幸委員

- ・ ということは、完成時にはそういう状態でスタートしたいと。ぜひそういう方向でお願いしたい。
- ・ もう1点気になったのが、開場の時間が8時から8時だ。この時間設定がアンケート結果を考慮してということなんだが、このアンケートは周辺住民の皆さんにしかアンケート調査やっっていない。その結果に基づいてこの時間設定してるが、使いたい人たちの意見はどこに反映されるのか。多分、社会人の方なんかは当然仕事が終わってから照明設備があるんで練習で使いたいという話になると思

う。例えば練習試合やるとしても最低1時間45分かかる、ハーフタイム入れると。そうすると、8時だとかなりきつい時間になるのかなと思う。だから使う人の意見集約ってというのはこれからか。それとも最終決定なのか。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 指摘のとおり、8時から8時は周辺の方々からのアンケート調査に基づいて素案の中で設定をさせてもらったものだが。それとサッカー協会、ラグビー協会の方々にも8時から8時でどうだろうということで、まあいいんでないかというお話はしてるわけである。さらに、サッカー協会、ラグビー協会に入ってなくて競技やってる方もたくさんいるわけだから。特に、サッカーの場合はいると思うので、そういった方々について、これからパブリックコメントをやっていく中で意見をもらい、検討していかなければならないと思っているが、ひとまず周辺の方々に迷惑をかけるわけにはいかないと思ってこの設定をしたところである。

○金澤 浩幸委員

- ・ わかるが、例えば昭和公園も照明があってサッカーの試合をやっている。あれも10時くらいまでは使ってるから。で、地域の住民の皆さんという話が出たが、やはり使う人の意見ももうちょっと取り入れてほしい。千代台のテニスコートも、昔8時だったか、9時だったか。やっぱり使う人たちが多いということで、予算か何かで私、話を延ばしてもらった経緯もあるが、やはり使う人たちの意見ももうちょっと取り入れてほしい。これ、最終決定にしてほしくないと思っているので、協会の方は当然トップの方たちだけだと思うから、これから使う方たちの意見ももうちょっと取り入れてほしいと思う。ちょっとそこだけ確認したい。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 改めて役員だけでなく、実際に活動されてる方も含めて話を伺い、必ずしもこれでなければだめだということではなくて、今後パブコメで〇〇の修正もほかに出てくる可能性もあるわけだから、皆さんの意見を伺って取り入れるようにしていきたい。

○金澤 浩幸委員

- ・ もう1点だが、実は北高のOBの特に1、2回生の方が自分たちがみずから学校の周りに植えた木が丸坊主にされてしまうのはどうだっていう意見がある。この1回生、2回生の方たちが一生懸命グラウンドもつくったんだろうし、木も植えたらしい。この図面見ると南側の住宅街に接するほうは木が残ってるから、ある程度残してもらえるのかなと思うが、よほど古くなって危険だとかというような樹木以外はできれば残してほしいと思うが、いかがか。

○教育委員会生涯学習部参事3級（池田 敏春）

- ・ ただいま樹木の関係についての質問だが、素案の26ページ(5)として植栽の検討がある。大規模な植栽はこれから行わないが南西側、今お話があったとおり、既存樹木を生かしながら緑地による緩衝部分もあるのでそうした機能も考えながら木を残していきたいということである。ただ、一方でアンケートをとった結果、それから町会の方々とお話をする中では既存の樹木が落葉広葉樹の場合は落ち葉が〇〇したという話もあり、一方で落ち葉の景観が非常にすばらしいという話もあるので、基本的にはもうちょっとお話を聞いて樹木調査をしながら結論を出していきたい。ただ、基本的な考え方と

してはばったばった切るということではなくて、残しながらということ考えていく。

○金澤 浩幸委員

- ・ 我々の先輩の1、2回生はそういう思いもあるってことで、よろしく対処をお願いして終わる。

○出村 勝彦委員

- ・ 基本計画素案だが、絶対的に改めてもらいたいというか、考えてもらいたいのは駐車場である。あそこは、外環状もできて交通の利便性もよくなる。いろいろ中体連の全道大会とか高体連の全道大会なんかやった場合に、この駐車場じゃ到底足りないと思う。大体、バスが5台なんて話にならない。私、陸上競技協会の役員やってるけども、役員が置く駐車場なんかないから、あちこちに苦勞して置ける。しかも、長万部とか八雲とかほかの地域から来る人方は駐車場なんて全然なくて不平不満だらけ。だから、あそこで大きな大会ができないって言う。それでも、陸上は中体連、小学校、中学校、高校って全道大会も年に一つくらいずつやってるけども。まして、利便性も北高のほうのサッカー場はよくなるし、あれだけ面をとってあるのでそれにきちっと対応した駐車場を確保していくべきでないか。最初にやらなかったらなかなか難しくなる。これでは、お話にならないと思う。具体的になってくるといろいろクレームも出てくると思うが、その辺についてもっと柔軟に対処していくべきでないか。検討してみたらどうか。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 本当にそういう大規模な大会の場合には、この駐車場で十分かどうかという、ちょっと不足の面というのはあるんだと思う。で、日吉の体育施設のほうにも60台くらいの駐車スペースはあるけれども、大型バスが10台、20台とか入ってきたときを考えると、当面は日吉4丁目団地、放射4号線の向かい側である上のほうが市住を今、解体してるので、そこをまず使えるようにさせてもらうということで、そこについては財務部と今、話をしているところである。で、将来的には福祉村構想ということであるが、放射4号線に面したところはやはり緩衝地帯的なバッファゾーンも必要になってくるので、将来的にもそういった駐車スペースとして確保できるように財務部と十分に協議をして、ここの中だけだとなかなか限界があるが、放射4号線の向かいの4丁目団地のほうで確保できるようにしたいと思っている。

○出村 勝彦委員

- ・ 各学校で大型バスを持って、どんどん入ってきた場合は到底足りない。せっき交通の利便性が良くなって函館でやりたいという大会はふえていくと思う。またふえることによって観光振興の面からいろんな函館の経済振興にもつながっていくわけだから。それからやっぱり受け入れ体制、こういうものは最初が肝心だと思う。ぜひ検討してやってほしいと要望して終わる。

○齊藤 明男委員

- ・ 2015年供用開始で新幹線の開業と同年度と理解しているが、今、新外環状道路が新幹線の開業では赤川インターまでというような話も聞いているが、全体的な交通アクセスから見た場合、産業道路から市道2本とそれから道道1本だ。これで対応するようになるけども、例えば公式試合なんかあった場合、当然、函館・江差自動車道と函館新道、あとは東部4地域なんかは国道278号から産業道路に入るような交通が非常に煩雑になる可能性があるんだけども、日吉インターの完成ってのはどの程度

の目安でいるのか。これができることによって相当交通アクセスがよくなる。強いて言えば空港まで整備されれば相当いいわけなんだけれども、その辺のところはどうとらえているか。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 申しわけないが、今いつ頃ということは私この場で承知してないというのが正直なところだけれども、本当におっしゃるとおり日吉インターできるまでの間は道道と放射4号線と今の現況の道路幅員でしばらく使うことになるので、一刻も早く日吉のインターまでつくってもらいたいということでは思っているが、いつできるってのはちょっとお答えできないのが・・・。申しわけない。

○斉藤 明男委員

- ・ 教育委員会の立場としてはそうだと思うけど、やはり函館市として全体的にその辺の要望活動なり、議会としても副議長いるわけだから。副議長、政権与党だから、大いに頑張ってもらってその辺のめどを早くつけるようお願いしたい。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ では、板倉副議長をお願いをして。

○斉藤 明男委員

- ・ よろしく願います。

○小野沢 猛史委員

- ・ 部長、さっき説明の最後のくだりで、日吉の仮称多目的グラウンドの整備スケジュールについては、街路整備によっては変更もあり得るというような趣旨のことを話して終わったと思うんだけど、具体的にもう少し踏み込んで説明してほしい。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 例えば放射4号線、全線拡幅ってのはなかなか時間がかかるようで日吉中央通のほうが先に進んでるけれども、日吉中央通の用地買収だとかそういったスケジュールと後先になる。要は用地買収になった後に施設整備しないと施設整備した後に例えば用地入ったりすると・・・、いや、一番の問題はあっちなんだ。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ どっち。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ ごめんなさい。この北高もちろんそうだが、日吉サッカー場がある。で、日吉サッカー場も一部敷地が関連道路の関係で食い込むという分があり、そのために日吉サッカー場のほうも工事をしなければならないことになる。それは利用者の確保等を考えると日吉サッカー場の工事にかかる前に北高のほうをでかしておきたい。そうすると工事中も北高が使えるということで27年の夏から日吉サッカー場の工事が入りそうなスケジュールである。なので何とか27年7月までに北高を供用したいということで日吉サッカー場のほうを早く手をかけなければならない。例えばもう27年の春から手をかけないといけないということになれば早くしなきゃいけないということで時期が、スケジュールが変更する可能性があるということである。

○小野沢 猛史委員

- ・ とりあえずわかった。そんなに理解してないけど。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ だから、そんなに大きく何か月も変わるとか年度が変わるとかっていうことは考えてない。

○小野沢 猛史委員

- ・ 放射4号線の整備の進捗具合によってこの多目的グラウンドの整備に何か影響が出るということはない。そう理解していいか。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ はい。直接、放射4号線の整備にかかわっては出てこない。

○小野沢 猛史委員

- ・ 今、どこまで正確な情報かわからないけども、私の聞いている範囲では日吉インターは平成28年度供用開始ということを目指して作業を進めてると。前段言った日吉サッカー場の部分については、その時点ではもう整備していなければ間に合わないという状況なので、これインターチェンジからなんだろう、日吉幼稚園のあったところ、ちょうど三角形の北高の向かいにあった。あそこのとこまでは拡張した形で平成28年の供用開始の時点では整備すると聞いていた。で、その先がまだ全然見通しが立ってない。まあ、道は市に事業主体となってやってくれとか、道も大変だからって話でそこら辺に話〇〇〇という状況らしい。そのことが北高の新しい多目的グラウンドの北側にずっと一帯、面する形になるので何か支障が出るのかと思って質問してみたが、それは関係なしに境界線が決まってるということで作業進めていくってことだね。いや、であれば問題ないんだろうと思う。
- ・ もう1点だけど、北海道は積雪寒冷地だということで冬期間は屋外でやるスポーツは開店休業。例えばテニスなんかであればインドアでやったり、ハンドボールなんかも最近では体育館の中でやるということが主流になってきているが、ラグビーとかサッカーはそうはいかない。雪国型スポーツ施設ということで、例えば青森ではサンドームは土で冬期間も利用できる。サッカー、ラグビーに特定した施設ではないけども、冬期間も利用できるような施設の建設は財政が厳しくてそういった事業をやるという機運もない中で、あんまり話題にすらなっていないのが現状、現実だと思う。でも根底でやれるならやってほしいという思いはあると思う。ラグビーとかサッカーの選手は。

余計な話だが、水泳のプールが屋外しかなくて、夏場の2カ月から3カ月練習していたのが、屋内のプールができた記録が飛躍的に伸びた。多分そういった環境を整えば市内のサッカーとかラグビーとか、屋外でスポーツをする方々もそう。継続して練習して資質を高めているような感覚を研ぎ澄ませながらつくり上げていくってことはとっても大事なこと。そういう意味からいくと、せっかくこれだけの事業やるんだから、大がかりなドームつけるとなると大変なことになるが、青森のかまぼこ型のは25億円かと。多分、皆さん今回の多目的グラウンドの整備に当たって、そういうことはあんまり視野になくて、検討も多分されなかったんじゃないかなと。もし、そういう議論があったのであれば撤回するが、あんまりそういうことは念頭になかったんじゃないかと思う。ここまできて時間もないんだけど、合併特例債がまだ残ってるっていうし、釣り天井か何かで冬期間、使えればいいなと思う。もう今基本計画の案をつくってパブリックコメント云々って段階なんだけれども、最後にどのくらいかかるんだろうかと。果たして最低限のことでやって、簡単な釣り天井みたいなものつくって、夏場にな

ったらたんでしまえばいい。それくらいの簡易なものでいいと思うんだけど。どうでしょうか。そういう検討をぜひしてほしいと思うが、余地は全くないのか。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 正直言って今、屋根かけることまで想定してなかったということが本音である。先ほどの防球ネットの話で、サッカーだと10メートルくらいの防球ネットで大丈夫なようだが、ラグビーの場合、今、根崎が10メートルのネットあるが、やっぱりネットを越えていくことがあって、時々川まで飛んでいくと。ラグビーの場合、タッチに蹴り出すという行為があるので、どうしても高さが必要になる。ことによっては20メートルくらいの防球ネットが必要な場合もあり得るのではないかっていうことで、その場合に地質の状況によるが、基礎を本格的に入れなければ20メートルの高さのネットを立てる、支柱を立てることもできないと。ことによっては支柱1本立てるだけで何千万とかっていうようなこともあり得る、まあ、調査しなければわからないが。そうすると今、ここに屋根をかける、釣り天井でもそういう20メートルからの屋根というか、雪が落ちてこないようなものっていうと現時点で積算してないので何とも言えないけども、かなりの額になるんだろうなと思ってる。一方で、今回人工芝にするので天然芝クレーと違ってかなり冬期間でも供用可能ということなので寒さに震えながらということはあるけども、特にラグビーの場合だと冬期間がシーズンなのでできるだけ長い期間の供用ということを考えながら。屋根ってのはちょっと難しいと思っている。

○小野沢 猛史委員

- ・ もっと早くからそういった議論ができてればよかったが、青函交流の野球のゲームをサンドームとあっていう多目的の冬型施設でやったときのことをいろいろ思い出したので発言してみた。期間を少しでも長くってということなので、素案の中で4月1日から11月30日までってなってるけど、利用する側が根性入れてやればいつだってできるといえばできるんだけど、残念だ。何か工夫してほしい。いずれまた将来何かやる機会があるかもしれない。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 他に発言はあるか。（なし）
- ・ ないようなので発言を終結する。
- ・ 理事者におかれては本日の議論を踏まえ、今後の対応を進めていただきたい。
- ・ 理事者は退席願う。

（教育委員会 退室）

○委員長（工藤 恵美）

- ・ その他だが、各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午後0時16分散会